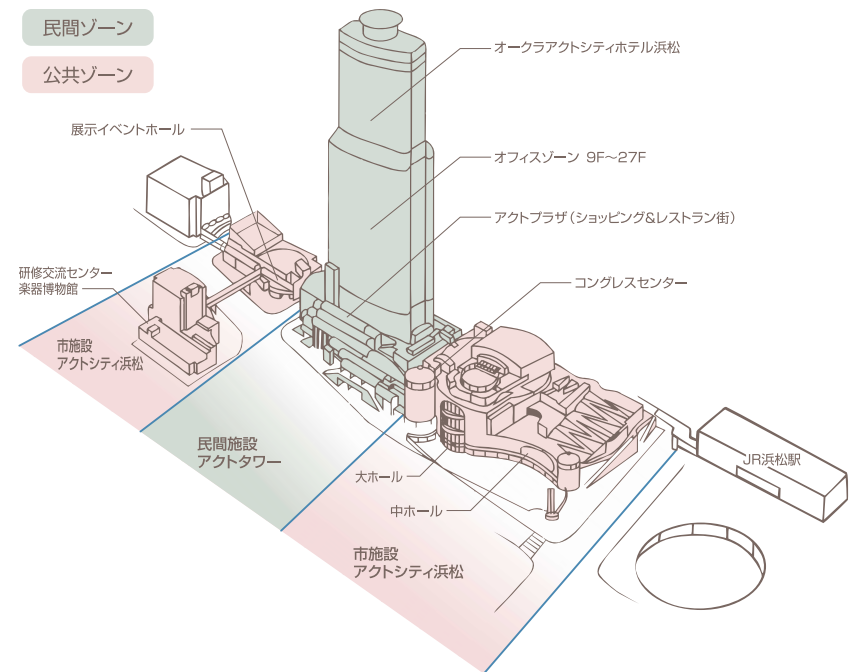




※へ アクトシティの概要 へ※

この報告書は、アクトシティの公共ゾーンについて、その利用動向・運営・事業など経営状況を取りまとめたものです



浜 松 市
(財)アクトシティ浜松運営財団

発行・お問い合わせ先

浜松市文化・スポーツ振興部 文化政策課

〒430-0917 浜松市常盤町306-5

イーステージ浜松オフィス棟7階

TEL (053) 457-2573 FAX (053) 457-2237

URL <http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/>

(財)アクトシティ浜松運営財団

〒430-7790 浜松市板屋町111-1

TEL (053) 451-1111 FAX (053) 451-1123

URL <http://www.actcity.jp/>

●アクティシティはどのようにしてつくられたのですか？

アクティシティは東海道本線の高架化などによって生み出された街区に、本市の産業・文化の発展を担う中核施設として、建設された官民共同の複合施設です。

主な経過

昭和61年～63年度	旧国鉄から用地取得 (29,800m ² 579億円)
平成2年	第一生命・三菱地所が浜松市から用地取得 (12,334m ² 567億円)
平成6年10月	ホテル・商業施設など民間施設と 大・中ホール、コンgresセンターなど 主要施設がオープン
平成7年4月	楽器博物館、研修交流センターがオープン



開発の様子

建設事業費等

区分	土地取得費(千円)	建物建設費(千円)	計
浜松市分	60,064,597	70,090,946	130,155,543
民間所有分	56,740,448	100,000,000*	156,740,448
計	116,805,045	170,090,946	286,895,991

*民間所有分建物建設費は推定

アクティシティの施設区分

施設区分	所有者	土地面積(m ²)	建物面積(m ²)	主な施設
アクティシティ浜松	[浜松市]	31,075	80,793	
	(内訳)	15,280	39,851	大ホール 中ホール コンgresセンター
		10,488	29,939	展示イベントホール
		5,307	11,003	研修交流センター (会議室・音楽セミナー室 産業情報室) 楽器博物館
[民間]	12,335	150,978	ホテル 商業施設 オフィス	
※みずほ 信託銀行				
合計		43,410	231,771	

※平成15年9月、開発者の第一生命、三菱地所とみずほ信託銀行の間で信託契約が設定され、受権者をオリックスが設立する特別目的会社を取得しました。

●どのような施設があるのですか？

●アクティシティ浜松(市施設)

大規模なイベントやコンベンションに対応できるホールや会議室など、高い機能を持った施設があります。

大ホール	中ホール	展示イベントホール	楽器博物館
日本初の四面舞台 本格的なオペラなどにも対応	クラシック音楽に最適なホール パイプオルガンを設置	東西100m、南北35mの スペース 見本市、展示会、各種イベント など様々な催事に対応	日本初の公立楽器博物館 世界各国の楽器を展示

このほか

- コンgresセンター …… 大小13の会議室で、あらゆる会議に対応
- 研修交流センター …… 遮音設備を備えた音楽セミナー室、研修や講習会に適した会議室
- 産業情報室 …… 特許資料を中心に産業資料が充実
を備えています。

●アクタタワー(民間施設)

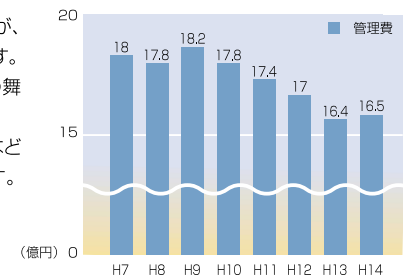
アクタタワーは、地上45階、高さ212mの超高層ビルで、浜松のシンボル、そして産業・情報・文化の交流拠点となっています。



アクタタワー

●アクティシティ浜松(市施設)の運営にいくらかかっているのですか？

アクティシティのうち、市施設の部分は8万m²ですが、この管理に要する経費は、年間で約16億5千万円です。光熱水費や館内清掃などの管理費、またホールの舞台設備等の保守点検、人件費などが主なものです。また、大ホール、中ホール、コンgresセンターなどの使用料は年間で約6億6千万円の収入があります。(平成14年度実績)



●アクトシティ浜松はどのような事業を行っているのですか？

施設の貸し出し

民間事業者や市民の皆さんにホール、会議室などの施設を有料でご提供しています。
例) コンサート、地元の芸術団体の公演、展示会、全国的な学会、大会など

文化事業

浜松市やアクトシティ浜松運営財団が文化事業を企画、実施し、浜松から文化の発信、文化の振興や人材育成を進めています。

内外への音楽文化の発信

—主な事業—

浜松国際ピアノコンクール
国際オペラコンクールin SHIZUOKA
浜松世界青少年合唱祭
全日本選抜吹奏楽大会



ピアノコンクール

地域文化の振興

—主な事業—

クラシックコンサート 市民オペラ
市民文化フェスティバル ショパンの丘
こどもミュージカル ピアノコンサート



市民文化フェスティバル

人材の育成 (アクトシティ音楽院)

—主な事業—

浜松国際ピアノアカデミー
浜松国際管楽器アカデミー&フェスティバル
ジャズクリニック
こども邦楽セミナー
主催者養成セミナー



ジャズクリニック

楽器博物館

—主な事業—

特別展、企画展の開催
レクチャーコンサート
ミュージアムサロン
移動博物館
展示室ガイドツアー

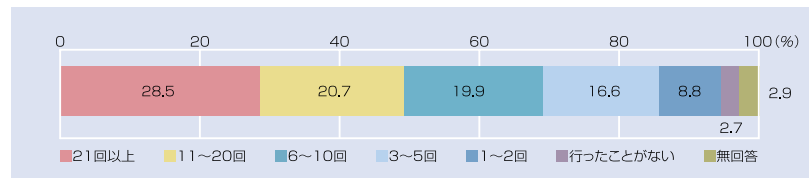


展示室

●アクトシティはどのくらい利用されているの？

民間・公共ゾーン合わせて、約半数の市民が11回以上利用しています

市民アンケート※によると、これまでアクトシティに「21回以上」訪れたことがある人が28.5%、「11～20回」が20.7%で、多くの市民が訪れています。



※平成14年11月実施

公共ゾーンだけで、年間約100万人が利用しています

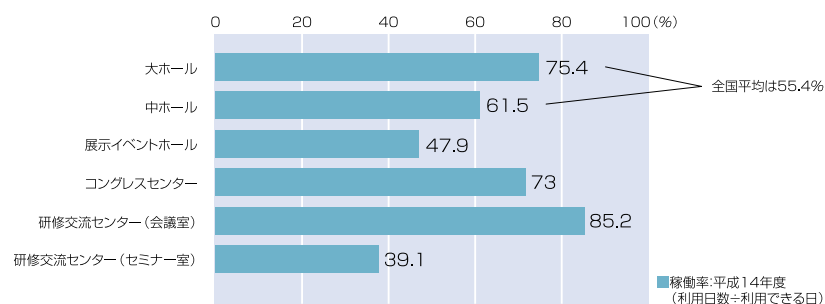
アクトシティ浜松の大・中ホールなどには、年間延べ約100万人の利用があります。市民をはじめ内外の多くの人たちに利用されています。

施設名	大ホール	中ホール	展示イベントホール	コンgresセンター	研修交流センター	合計
利用者数(万人)	27.4	11.0	15.2	23.0	19.3	95.9

※利用者数は延べ人数で、平成14年度実績

大ホールの稼働率は8割近く

大ホールの稼働率は75.4%、中ホールは61.5%です(平成14年度)。全国の公立文化ホールの平均稼働率※は約55%ですので、全国のホールと比べても高い稼働率です。



※公立文化施設協議会調べ(平成10年度の全国平均)

●アクトシティ浜松の経済効果と役割は？

●経済効果

アクトシティの公共ゾーンの活動が地域社会に及ぼす経済的な効果を「産業連関分析」という手法で検証してみました。

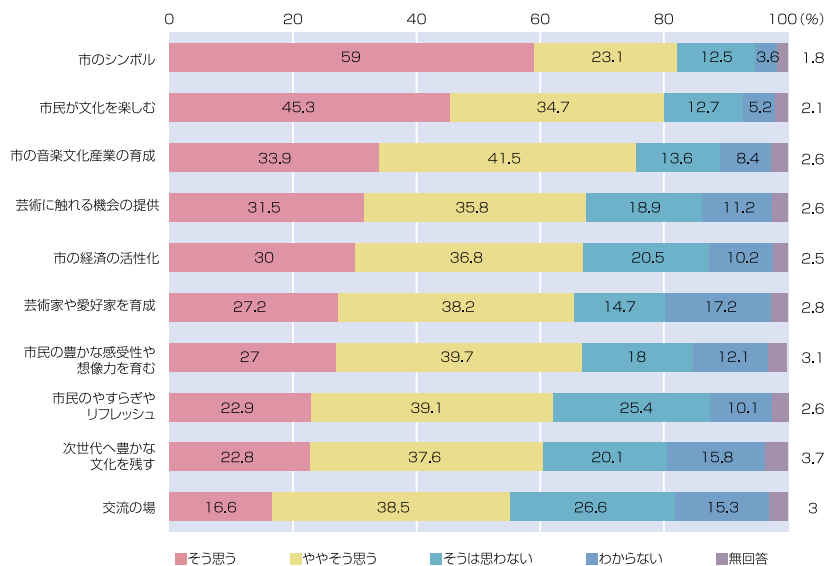
経済波及効果は50億円

アクトシティを利用する方々は車や電車を使ったり、食事や買い物などいろいろなところでお金を使います(来場者支出)。また施設を運営する上で、様々なところからものを仕入れたり、サービスを購入したりします(運営支出)。これらの直接的な消費や仕入れは、それだけにとどまらず、仕入先の生産やサービスの増加を促したり、また、その雇用者の所得が新たな消費につながるなど、次々に波及していきます。このような効果を「経済波及効果」といいます。

アクトシティが静岡県内に及ぼす経済波及効果を産業連関分析で推計したところ、50.5億円と算出されました。来場者支出や運営支出などの直接効果が30.4億円ですから1.66倍の経済波及効果があると推計されます。

●市民が考えるアクトシティの役割は？

アクトシティは産業、文化の交流、発信を担って誕生しました。市民の皆さんは、アンケートで次のような回答をしています。

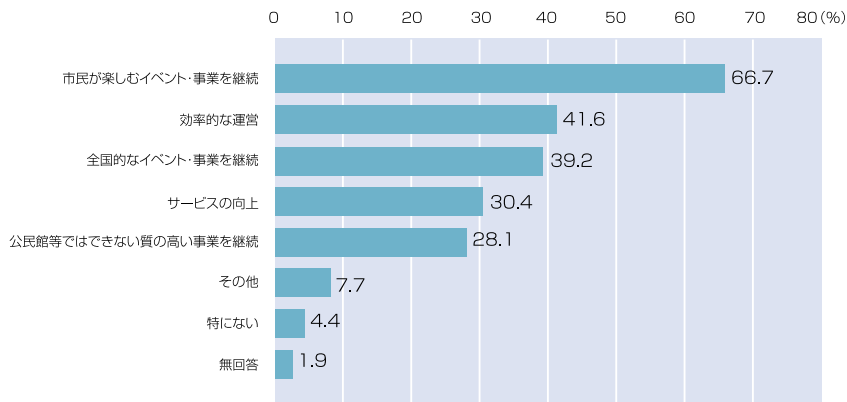


●アクトシティへの市民の期待とこれからの運営

●市民の皆さんが望んでいるアクトシティの運営は。

「市民が楽しむイベント・事業を継続」(66.7%)、「全国的なイベント・事業を継続」(39.2%)と、イベントや事業の継続へのニーズが高くなっています。また、「効率的な運営」(41.6%)、「サービスの向上」(30.4%)など運営面での充実に関するニーズも高くなっています。

今後は、これまで以上に効率的な運営のもとで、市民が楽しめるものから全国的なイベントまで幅広く展開していきます。



こうした市民の声に応え、アクトシティの経済的、公益的な価値が一層高まるよう、公共ゾーンと民間ゾーンの有機的な連携のもとに、事業展開や効果的、効率的な運営を図っていきます。

サービスの向上と効率的な運営の推進

- ・施設の品位と利用者の視点に立ったサービスの向上に努めます。
- ・ホールセールスやコンベンション誘致へ積極的に取り組み、施設利用の一層の促進を図ります。
- ・(財)アクトシティ浜松運営財団の経営努力が引き出され、その成果が還元されるよう、平成15年度から施設の利用料金を財団の収入とする、利用料金制度を導入しました。

ソフト事業の一層の充実

- ・良質な舞台公演や国内外との交流、身近に文化を体験する事業の展開、文化情報の発信、さらにはにぎわい創出につながるイベントなど、ソフト事業の一層の充実に努めます。
- ・アクトシティ音楽院は、15年度から、アカデミー、コミュニティの2コースに再編成し、音楽家の育成や市民の学習機会の拡充を目指します。また楽器博物館では、世界の音楽や楽器を様々な角度から紹介し、多彩な事業を展開していきます。